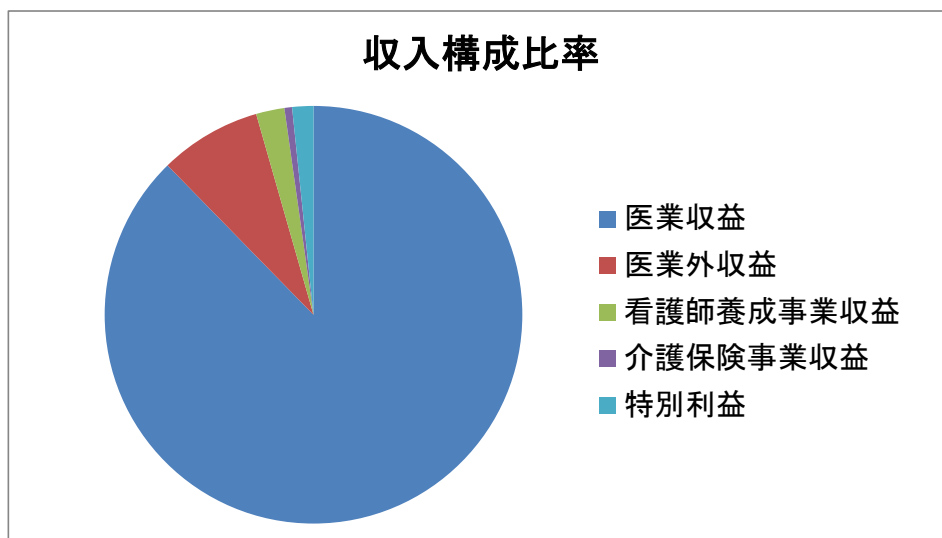


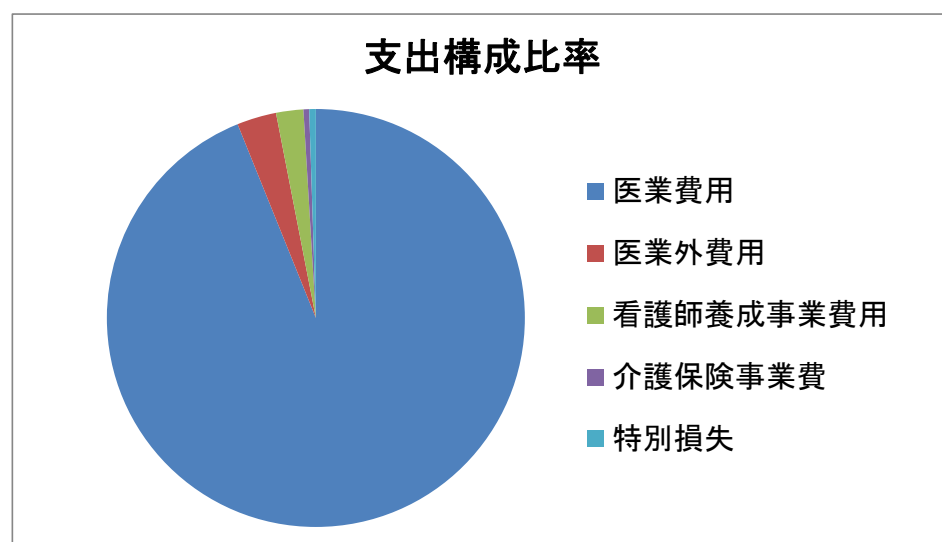
香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院事業会計

平成27年度決算状況



収入 (単位:円)

項目	決算額	構成比
医業収益	2,843,082,406	87.7%
医業外収益	255,898,546	7.9%
看護師養成事業収益	71,472,177	2.2%
介護保険事業収益	19,001,762	0.6%
特別利益	53,129,088	1.6%
合計	3,242,583,979	100.0%



支出 (単位:円)

項目	決算額	構成比
医業費用	3,081,385,056	93.9%
医業外費用	100,149,768	3.1%
看護師養成事業費用	69,138,166	2.1%
介護保険事業費	14,457,356	0.4%
特別損失	16,622,625	0.5%
合計	3,281,752,971	100.0%

※各表の計数は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院の経営状況

平成27年度の組合立国保小見川総合病院の状況について、市民、町民の皆さんにお知らせいたします。

■業務の状況

平成27年度の患者数の状況は、入院延患者数が3万696人となり前年度に比較し2,655人増加し、1日平均の入院患者数は、7.1人増の83.9人となりました。

また、外来延患者数は、10万2,513人となり前年度に比較し1,050人減少し、1日平均の外来患者数は、421.9人となりました。

■決算の状況

平成27年度の病院総事業収支は、3,916万8,992円の純損失となりました。

収入における医業収益は、前年度に比較し6.9%増の28億4,308万2,406円となり、総事業収益では、6.6%増の32億4,258万3,979円となりました。

一方で、支出における医業費用は、前年度に比較し1.7%増の30億8,138万5,056円となり、総事業費用では、0.9%減の32億8,175万2,971円となりました。

収益では、入院患者数及び手術件数が増加したことにより、特に入院収益が増収となりました。

費用では、入院患者数等の増加に伴い薬品費や診療材料費などが大幅に増額となりました。一方で職員給与費は年度途中で常勤医師2人が退職したことや前年度に比較し看護職員数が減員となったこと及び年金制度の一元化に伴い標準報酬制度に移行したことで健康保険、年金保険料の算定方法が変更となり減額となりました。その他では特に材料費の増額により、控除対象外消費税が増加しており、損益に大きく影響を与えている状況です。

■事業の状況

平成27年度の医療機器整備事業は、眼科手術用顕微鏡、画像診断ワークステーション、ベッドサイドモニター式などの老朽化した機器を中心に整備しました。また、平成26年度に策定した「国保小見川総合病院建て替え整備基本構想・基本計画」に基づき、新病院の基本設計を実施しました。